

建築士

HIROSHIMA

## 広島豪雨災害伝承館見学研修会

三原支部 岡田 誠二

10月18日(土)三原支部事業で、広島城天守閣と広島市豪雨災害伝承館の見学会が17名(内会員6名)参加で、開催されました。

広島城天守閣は、コンクリートの劣化・設備の老朽化に伴う安全面を考慮して、令和8年3月22日で、閉城します。広島城天守閣は、安土桃山時代に毛利輝元により木造により築かれ昭和6年に国宝に指定されましたが、昭和20年8月6日原子爆弾により壊滅し昭和33年「広島復興大博覧会」の会場として壊滅前の外観に模し鉄筋コンクリートにより再建されたもので、内部は、広島城の構造・模型・甲冑・刀剣の展示をしている歴史博物館になっています。今後は、建築中の広島三の丸歴史館に引き継がれるようです。

広島市豪雨災害伝承館は、2014年8月20日の豪雨により死者77名の人的被害 住家全壊179棟 道路・橋梁・河川堤防1079件の物的被害をもたらした豪雨災害のつらい思いを二度と経験してほしくないまたもし災害が起きても犠牲者が一人も出てほしくない思いを次世代にいのちをつなぐためにあの災害を語り継ぎたい防災・減災の想いをつなぐたい被災者の想いを受け止め犠牲になられた方々への哀悼と鎮魂の場となるシンボリックな拠点施設として2023年9月に開館した施設で、今年6月天皇皇后陛下もご視察されました。

ご自宅が、土砂で半壊された被災者でもある高岡館長様

より当日、雨音の大きさと眠れなくなり近くのコンビニに行こうとされたが道が水に浸かってあきらめご自宅に戻られた時に土砂がなだれ込んで2階で不安な一夜を過ごされた当時の体験談 当日の報道 CGによる土石流の再現映像を見させて頂き自然の恐ろしさを痛感するとともに地域のコミュニティの大切さ 災害への備え 防災意識を持つことの重要性を学びました。

最後に303(上山川)小原山砂防堰堤に移動し現地にて被災前 被災後 堰堤が完成した現在の説明を受け変わり果てた現状を見て自然災害の恐ろしさを再認識をし今回の見学会を終えました。



広島城天守閣



小原山砂防堰堤

## 女性委員会 とびだせアーキテクト!開催

広島支部 金本 亜希子



参加した12人の子どもたちが細かな切り込みや折り目の作業に真剣に取り組み、自然と集中して作業を進めている様子が印象的でした。難しい部分にも粘り強く挑戦し、形が立ち上がった瞬間には「できた!」と達成感に満ちた声があがりました。「クリスマスカードにしよう!」「家でも作ってみたい!」といった嬉しい声も多く、ものづくりの楽しさが伝わったことを感じました。

今回の取り組みを通して子どもたちが建築の魅力に触れるだけでなく、自分の手で形をつくり上げる面白さや達成感を味わう機会となりました。これをきっかけに、建築に興味を持つ子どもがもっと増えてくれたら嬉しいです。



次回は3月7日(土)に見学会を企画しております。どうぞお楽しみに。

建築士 HIROSHIMA No.193 令和8年1月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号  
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>  
e-mail : [info@k-hiroshima.or.jp](mailto:info@k-hiroshima.or.jp)

発行人 会長 佐名田 敬荘  
編集人 広報委員長 梶川 彰彦

## 表紙写真について

広島市立広島特別支援学校(北校舎)

- 設計・監理／佐藤総合計画・あい設計共同企業体
- 施工／建築：銭高・鴻治建設工事共同企業体  
電気・衛生設備：(株)中電工  
空調設備：(株)大方工業所  
昇降機：フジテック(株)
- 所在地／広島市南区出島二丁目
- 用途／特別支援学校
- 構造規模／鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- 敷地面積／15,210.81㎡
- 建築面積／4,138.33㎡
- 延床面積／13,307.57㎡
- 竣工日 2025年3月14日

児童・生徒の急増による教室不足に対応するとともに、軽度から中度の知的障害があり、卒業後に一般就労を目指す高等部生徒が、地域の協力を得ながら、将来の自立と社会参加に向けた教育内容を学習できる施設として増築校舎を整備したものである。

増築校舎は「生徒ひとりひとりの個性を最大限伸ばし、将来の家庭生活、職業生活、社会生活の各場面において自立した人間を形成する」という教育理念を実現させるため、「実践的な職業教育を推進するための諸室」「将来の自立に向けた教育を推進するための諸室」「地域に開かれた学校となるための施設環境」の3つのコンセプトを踏まえ整備した。

教育理念に沿うよう、喫茶実習室の店舗部分と接客実習室であるショップは前面道路に対し、間口を広くとることで、地域の顔として親しまれるよう計画した。

また、広島市の景観計画によるシーフロント地区にあるため、できる限り低層化し色彩計画にも配慮した。



## CONTENTS

表紙写真について	2
新年のごあいさつ	3
第40回呉建築セミナー「人々が生き生きと、幸せになる建築」	4
『URBAN FUNGUS 都市菌』～伝統知から建築を考える～	5
特集記事	6
「第20回ひろしま街づくりデザイン賞」を募集しています	8

ひろしま建築学生チャレンジコンペ2025最終審査会を開催しました！	9
賛助会員紹介	10
CPD認定プログラム・お知らせ	12
広島豪雨災害伝承館見学研修会	14
女性委員会タテモノガタリ	14

## 新年のごあいさつ



年頭にあたり、会員の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

日頃より本士会の活動にご参加ご支援をいただき心よりお礼申し上げますとともに、本年もより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年アメリカ大リーグでは、ドジャーズの大谷選手や山本投手、佐々木投手の3人の活躍で、ハラハラドキドキ。カープの試合が終わった後も、地区優勝、リーグ優勝、ワールドシリーズ優勝、そして大谷選手のリーグMVPと楽しませていただきました。

さて、本士会では、会員への情報提供や研修、交流など会員向けの活動はもとより、建築士資格に係る試験の実施や資格登録等を行うとともに、県内の各支部において建築やまちづくりに関するイベントを開催するなど公益事業を中心に活動しています。

また、自治体と協定を締結するなど、行政との連携も積極的に行っています。その一例として、広島市と(株)坂茂建築設計、本士会の3者で締結した「災害時における避難所用間仕切りシステムの供給に係る協定」を紹介いたします。この間仕切りシステムは、本士会創立70周年記念事業で講演いただいた坂茂氏から紹介されたもので、被災者のプライバシーを確保するなど避難所の環境改善に資するものです。被災者のプライバシー確保は、近年災害の発生頻度が高まっている中、重要なテーマと考えています。この協定を機に、防災活動等に取り組むため災害対策委員会を新たに設置し、昨年来、広島市や廿日市市からの要請を受け、防災訓練の一環として、間仕切りシステム活用の事例紹介や組立等を行い普及に努めています。

本士会では、熊本地震など被災地への応急危険度判定士や西日本豪雨災害等での建築相談員の派遣等を行ってきましたが、今後は、間仕切りの設営等についても役割を担うこととなります。

昨年4月に建築基準法と建築物省エネ法が大幅に改正され、これに合わせて設置された広島県の建築士サポートセンターにおいて、建築士事務所協会と本士会が事務局を担ってきました。申請に係る図書の作成や手続きについてサポートするもので、今年1月まで延長されています。今後同様の事案があれば、事務所協会と積極的に協力し取組みたいと考えています。

一方、日本建築士会連合会においては、昨年大阪府にお

(公社) 広島県建築士会  
会長 佐名田 敬荘

いて全国大会が開催され、全国から約3,000名の会員が集いました。エクスカッションには万博入場券がセットされ、1970年以来55年ぶりの大阪万博を堪能させて頂きました。今年の群馬大会は、近代日本の産業を支えた「富岡製糸場」など世界遺産群を題材に開催されるようです。群馬の地は、広島からは訪問する機会が少ない地域だと思いますので、皆さま方の参加をお願いします。

また、連合会においては、一昨年から日本建築家協会(JIA)と「国際化に対応した建築士の新資格制度の創設」に向け協議が進められています。日本の建築士資格は、UNESCO-UIA 建築教育憲章の認証を受けていないため、世界で通用しない資格となっています。日本ではアーキテクト(意匠設計等)とエンジニア(構造・設備設計等)を包括した資格に対し、欧米ではアーキテクトに特化した資格であり、大学の学歴要件も5年制になっています。学歴など必要な要件を満たす新資格は、JIAの登録建築家と士会の統括設計専攻建築士をベースとして協議が進められています。この新資格が、会員増強や次世代の若手育成に役立てばと考えています。

県内の各支部に目を向けますと、会員数をはじめ取り巻く状況が異なり、各支部の実情に応じた対応や支部と本部の活動の連携、委員会相互の連携も必要と感じています。これらについても、より良い活動ができるよう努めるとともに、会員の皆様方との絆が一層深められるよう努力してまいります。

会員の皆様には、今年の上会活動について引き続きご指導ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、また本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年も、よろしくご挨拶致します。



## 第40回呉建築セミナー「人々が生き生きと、幸せになる建築」

呉支部 田口 雄敏

2025年11月20日(木)18時～20時、呉市のつばき会館4階音楽ホールにおいて、第40回呉建築セミナーが開催され、講師には建築家の古谷誠章先生((有)ナスカー級建築士事務所代表取締役、早稲田大学名誉フェロー)をお迎えしました。セミナーの参加者は約120名で、中には県外からの参加もあり、地元広島県内の学生を含め多くの方々に参加いただきました。

古谷先生は第19回でご講演いただいておりますが、今回は40回記念ということで、二回目のご講演をお願いしたものです。

古谷先生は、呉に大変ご縁があります。1986年に当時呉市にあった近畿大学工学部へ赴任され8年間を講師として、そしてデビュー作となる住宅を設計され、この9月に完成した呉市役所近くの太矢整形外科病院を設計されています。

講演の冒頭で人が人に出会う舞台を作るのが仕事、建物を舞台と表現されていました。他人と出会う事で幸せになれる。人と人が出会う時に建築が介在する、建築がきっかけとなると。具体的には作品の紹介の中で話されました。

講演の中で話された建築の中からいくつかを紹介させていただきます。

### 太矢整形外科病院(人々が元気を取り戻す、生活の舞台としての病院)

病院は病気を治す場所であるが、病気を治すだけでなく、その場所で1日を快適に過ごす空間、幸せに思ってくれる空間を作る。働いているスタッフにとっても同じ様に感じてくれる空間。

外観については、建物が立ち並んで街の雰囲気との調和を取りつつ個性をもった設計となっています。敷地がいびつな為、採光の取り方、病室などの配置などに工夫がなされており、なかでもサンデッキ型病棟、足先が窓に向いて、横がカーテンで仕切られているので横の患者さんと目を合わすことなく外の景色が見えます。

### 近藤内科病院・ホスピス徳島(病室を住まいに、病棟をまちに)

徳島で初めてのホスピスや緩和ケアがある内科病院で、太矢整形外科病院でもとりいれられた、サンデッキ型病棟を初めて採用された病院です。

### アンパンマン・ミュージアム(そこに暮らす人々に、心待ちにされる建築を)

アンパンマン・ミュージアムは、呉支部の県外研修会で訪れました。その際印象に残っていた、エントランスの床が斜めになっていること、大きな階段があることなど、どういう経緯で設計されたのか、講演の中で説明がありました。

この他にも作品についてお話をいただきましたが、今回の講演で感じた事は、建築を舞台としてとらえ、その舞台に登場される方、病院であれば、患者さんそしてスタッフの方、事務所、工場であればそこで働かれる方、皆さんが快適でその舞台に立って幸せに感じられる事をすごく大切に思われて設計をされているということです。

大変貴重なお話を聞かせていただきました。



## 『URBAN FUNGUS 都市菌』～伝統知から建築を考える～

和の住まい推進リレーシンポジウム in 広島 能作文徳氏 講演会

住宅委員会 長田 典之

2025年12月6日(土)、一般社団法人木を活かす建築推進協議会共催のもと、和の住まい推進リレーシンポジウム in 広島をYMCA 国際文化センターで開催し、建築士会の会員をはじめ、学生や建築関係者など多くの方(約70名)にご参加いただきました。

基調講演に、能作文徳氏(東京科学大学准教授/能作文徳建築設計事務所主宰/HOLES共同主宰)をお招きし、「URBAN FUNGUS 都市菌」～伝統知から建築を考える～と題し、これまでのプロジェクトと大学研究室での活動を中心にお話いただきました。



「アーバンファンガス、あまり聞きなれない言葉だと思います…」と優しい語り口で講演会が始まり、活動思想を丁寧にお話くださいました。

### 【アーバンエコロジー】

上記を実践するためのテーマとして、くらしのボトムアップ・人間と人間以外の絡み合い・弱い力で自然と環境に介入等をあげられました。自邸である「西大井のあな」とギャラリー間で開催された「URBAN FUNGUS」は、上記テーマにおいて資源や生物循環を実践された場所づくりに感じました。お話の中で、コンクリート土間だった場所をはつり、土中環境を改善し、生き活きと育つ野菜を食べて生活する事で「土」に対する気づきを得たという点がありました。そのような事象が都市中に展開できないかという発想が「URBAN FUNGUS」、菌の様に弱い力で都市に

循環を生む、というお考えに発展していると感じました。「里山で起こっている生活や循環を、都市に置き換えて計画できないか」というフレーズがとても印象に残っています。土への気づきを発展させ、土中環境や周辺環境に配慮した、「明野の高床」や「秋谷の木組」などの独立基礎を用いた計画も興味深い内容でした。



### 【伝統知と弱い力】

大学研究室の活動で「さとやまコモンズ」という実際に里山で体を動かす実践的な取り組みがあり、その中で「稲藁葺き」という技術継承が途切れた工法をセルフビルドで復活させた「結庵」というタイニーハウスの紹介がありました。実践を通じ昔ながらの作り方を引継ぎ・発見・発掘し「伝統知」として活動に取り入れる。伝統知一つ一つの力は弱いですが、土や木や太陽も決定要因とし、決して人間社会の都合だけで計画をしない、とお話いただきました。

「弱い力=伝統知、で社会や都市で起こる問題をなんとか解決したい、このような建築ができないかと考えている」とお話された言葉は、能作氏の活動そのものが凝縮していると感じました。

その他、富山県氷見市で展開される能登半島地震で被災を受けた家屋の古材保存や販売「古材レスキュー」など幅広い活動を紹介いただきました。講演終盤には質疑応答も活発に行われ、丁寧に回答される姿にお人柄が表れていると感じました。

基調講演前には各省庁から和の住まいを取り巻く環境の発信もあり、学びの多い時間となりました。

今後も建築士会は、関係団体様の協力の基、全国で活躍されている建築家をお招きし、この様な住宅講演会を開催していきます。次回もご期待いただき、ご参加をお願いいたします。



## 特集記事

呉支部所属の森村 毅 氏(元 近畿大学工学部教授)は、これまで呉市で牡蠣殻を使った漆喰やタイルなどの研究をされてきました。その研究成果の一部を連載でご紹介します。

### 骨材の異なる調湿漆喰タイルの調湿試験及び強度試験に関する研究 その1 漆喰タイルの調湿試験結果について

呉支部 森村 毅

#### 1. はじめに

我国では東日本大震災後の電力事情により、原子力発電から火力発電に移行しており、CO<sub>2</sub>削減計画に逆行する状況となり、取り組みが大幅に遅れている。

そのため筆者はCO<sub>2</sub>削減の一環として地球環境に優しい日本古来より使われている漆喰に着目した。

漆喰の歴史は古く1300年前にエジプトからシルクロードを通して中国に渡り、我が国に伝えられ、飛鳥古墳やキトラ古墳内部に使われている。漆喰は空気中のCO<sub>2</sub>を吸収して硬化する気硬性の持つ自然素材であり、石灰と砂とスサと糊と水を混練して作製される。石灰はわが国に広く分布し、唯一国内生産できる鉱物資源である。石灰より作製する漆喰は地球環境に優しい自然素材であり、それを技術開発によって、より身近な素材として建築物に用いることは非常に重要である。しかしながら、最近の建築物の多くは乾式工法の素材として集成材、合板、クロス等を用いるが、その素材の殆どは貼る際の接着剤に人体に有害なホルムアルデヒド等の化学物質が含まれており、それを長期間吸い込むと人体に様々な影響を与える。それをシックハウス症候群と呼び、新築・改築時の空気汚染の頑強になっている。それに対して漆喰は湿式工法で、自然素材のため、上述の問題は一切発生しない。さらに漆喰は調湿性・空気浄化作用・防カビ作用等に優れており、古くから城壁(写真1)、古墳の内壁、住居(写真2)等に用いてきたが、反面、脆弱脆性な欠点もある。



写真1 城壁

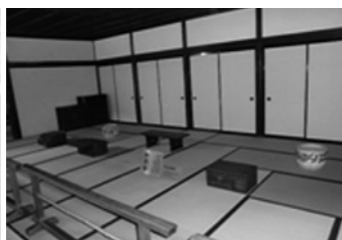


写真2 住居

筆者は長年にわたって広島湾で収穫する牡蠣殻を弱酸でエキス化したCaイオン水(写真3)を脆弱脆性な漆喰に混入して漆喰の強度発生メカニズムに関する研究を行い、高強度な漆喰を開発し特許を取得した。

高強度漆喰は住宅の壁などに塗布する湿式工法の代表的な素材である。しかし最近の住宅産業では工事の短縮を図るため湿式工事よりも乾式工法が主体となっている。高強度漆喰は温暖化効果ガスである空気中の炭酸ガスを吸収して炭酸カルシウムとなって漆喰内に蓄積して硬化する気硬性を持つため、漆喰壁は住環境の面から見直されてき

ている。また、化学物質を全く放出しないためシックハウス問題は全くなく、調湿効果、遮音効果、殺菌効果、空気清浄効果もあり、温室効果ガス対策にも繋がる。

そこで高強度漆喰を湿式工法から乾式工法にも用いるようにするためタイル化することを考えた。この度開発した漆喰タイルは、日本で産出するタイルに最適な骨材と高強度漆喰(スサ抜き)を混合して、焼成せずに圧縮成形して作製する。これについては特許申請を済ませている。この度開発した、8種類の調湿の異なるタイルを作製したので、そのタイルの調湿試験と強度試験及び湿潤試験を行い、その結果からそれぞれのタイルの特性を調べて、その性質を明らかにすることが本研究の目的である。本報告は8種類の調湿の異なる漆喰タイルを用いて、筆者が行った調湿試験結果のみを報告し詳細は次回に述べる。

#### 2. 実験計画

##### 2.1 調湿試験

本実験に用いるタイルは写真4に示すA型～H型までの配合の異なる8種類のタイルである。各試験体は養生箱の4隅の上部に写真5のようにタイル試験体をセットし、湿度計及び温度計を同位置に置き、毎日時間を決めて温度と湿度を測定し、記録する。



写真4 A～H型各試験体



写真5 A～H型設置状態

また、A型～H型のメイン骨材は下記の通りである。

A型・B型：十和田湖軽石  
C型・D型：新島コーガ石

##### 2.2 調湿タイルの開封時と平衡状態吸湿量及び表乾限界含湿量

製造初期の調湿タイルは、まだ十分強度が発生していないので、タイル保護のため、出荷までタ

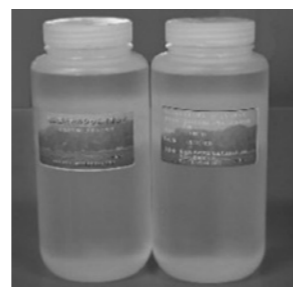


写真3 Ca水

イルを一枚ごとに段ボールで挟み込んで養生している。そのため漆喰タイル表面は直接空気に触れてなく、また、漆喰タイル内部は乾燥している状態にあり、漆喰タイルの特性である、吸湿・放湿の調湿作用は十分に働いていない状態である(図1(a)参照)。このことを開封時状態という。

調湿タイルは出荷開封時と同時に調湿タイルが空気に触れるため、空気中に含まれている湿気をどんどん吸湿し始め、図1(b)の平衡状態になるまで吸湿し、平衡状態になると、それ以降は空気中の湿度の影響を受けて吸放湿を繰り返し、調湿タイルの性状を持つ。この状態を平衡時吸湿状態という。また、タイルを長時間高湿度又は雨等に濡れた場合は吸水性の優れた調湿タイルは満水状態になり易い(図1(c))。この状態のことを表乾限界含湿状態という。

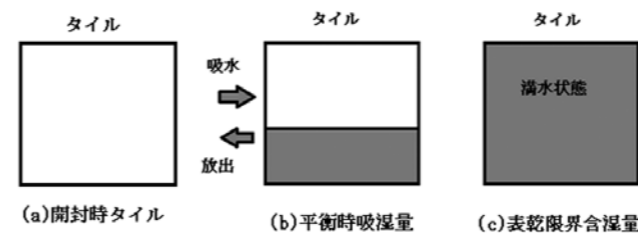


図1 調湿タイルの吸湿特性

#### 2.3 吸湿量の測定方法

調湿タイルの吸湿量を測定するために写真6に示す精度0.01gの電子天秤を用い、日々一定の時間に測定する。それと同時に養生室内の天候・温度・湿度も記録する。記録したデータは、パソコンのエクセルにインプットする。

各タイルに含まれる吸湿量の計算は下式による。  
吸湿量(g) = 経過日数時重量(g) - 初期重量(g)

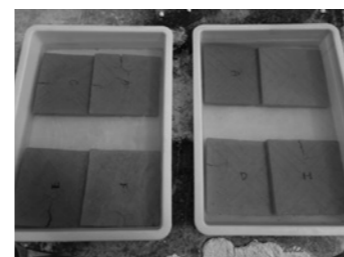


写真6 tileの湿潤状態



写真7 精度0.01g天秤

#### 3. 実験結果

図2は骨材と配合の異なる調湿タイルA型からH型までの経過日数120日目までの吸湿量の関係を写真4で示した精度0.01gの電子天秤で計測して求めたものである。

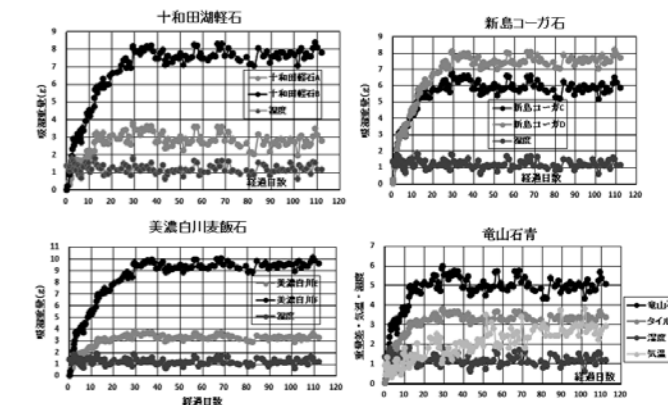


図2 骨材ごとの漆喰タイルの経過日数と吸湿量

#### 4. まとめ

以上実験結果から、この度の実験で用いた漆喰タイルは調湿効果のみを狙ったのであれば、全て室内タイルとして適していると考えられる。中でも、特に十和田湖軽石B型・美濃白川麦飯石F型・十和田湖軽石B型及び新島コーガ石D型は非常に優れた漆喰タイル材である。写真8は商品化された漆喰タイルである。詳細についてはその2で説明する。



写真8 漆喰タイルの商品

森村 毅(もりむら つよし)氏

専門は鉄筋コンクリート工学で、近畿大学工学部教授、近畿大学大学院教授、近畿大学特任教授を歴任。

大量に廃棄される牡蠣殻に着目して2004年にカルシウムイオン水を開発。これを用いた高強度コンクリートや高強度漆喰のほか、放射性物質セシウム等を吸着するゼオライトや高強度漆喰(防水漆喰)等の開発により、出願中も含め各種特許を取得されている。

建築確認・検査

構造計算適合性判定

**「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに  
より確かなサービスを提供します**

性能評価

定期報告

■ 指定確認検査機関

■ 登録建築物エネルギー消費性能判定機関

■ 住宅瑕疵担保責任保険業務

■ 指定構造計算適合性判定機関

■ 適合証明業務(フラット35)

■ 調査診断業務  
(違法性調査、定期報告等)

■ 登録住宅性能評価機関

■ 長期使用構造等の確認業務

■ 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務

**12条点検は弊社におまかせください**

株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F  
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201

東京支店: 東京都千代田区神田富山町22-7F

福岡支店: 福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

# 「第20回ひろしま街づくりデザイン賞」を募集しています

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係

広島市では、魅力ある街づくりを進めるために、街並みや自然への配慮がなされ、良好な景観の形成に貢献している建築物や広告、活動などを募集し、優れたものを表彰する「ひろしま街づくりデザイン賞」を実施しています。

現在、平成6年度に始まったこの賞の20回目の募集を行っています。

賞には建築物（一般）や個人住宅など、9つの部門賞があり、自薦、他薦を問わず広く募集していますので、ふるってご応募ください。



前回大賞を受賞した「SHIMINT HIROSHIMA」

## 【応募区分】

部門賞（建築物（一般）／個人住宅／アート／広告花と緑／街並み／夜間景観／景観まちづくり活動 公共施設）

## 【募集期間】

令和8年1月31日（土）まで（当日消印有効）

## 【応募対象】

広島市内で良好な景観の形成に貢献しているもの。ただし、法令などに適合していないもの、これまでにひろしま街づくりデザイン賞を受賞したもの（受賞した部門以外への応募は可）等を除きます。

## 【応募方法】

下記URL内の応募フォームよりご応募ください。  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/business/toshikeikaku/1021732/1043805.html>  
 （応募用紙によるメール・郵送等での応募も可能です。）

## 【選考・表彰】

選考結果発表・表彰は、令和8年秋～冬頃の予定です。

※ひろしま街づくりデザイン賞の詳細は、広島市ホームページをご覧ください。



ひろしま街づくりデザイン賞  検索



指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省工不判定機関（中国地方整備局長登録第3号）  
 BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は  
 迅速、的確な審査で、皆様の建物の  
 安全、安心をサポートします。

中国エリアをすまじりカバーしています

Energia HOUSE PLUS **ハウスプラス中国住宅保証株式会社**  
<https://www.jutakuhocho.com/>

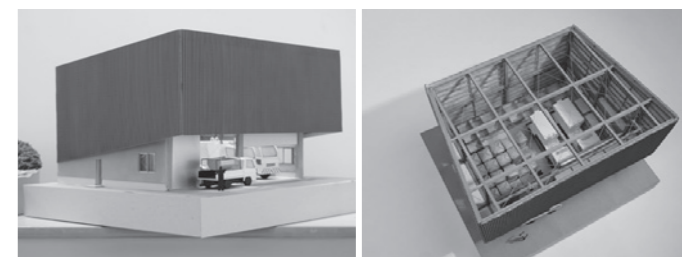
広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル  
 TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608

# ひろしま建築学生チャレンジコンペ2025 最終審査会を開催しました！

## —世羅スノーステーション(世羅町)—

広島県では、魅力ある建築物の持続的な創造に向けたクリエイティブな人材育成の一環として、全国の建築学生を対象に、「ひろしま建築学生チャレンジコンペ」を平成25年度より実施しています。12回目※となった令和7年度は世羅町の「世羅スノーステーション」を題材として、審査委員長に安部良氏（Architects Atelier Ryo Abe）、審査委員に田中健二氏（株式会社SHDL）、大野慶雄氏（オオノヨシオ建築設計事務所）をお迎えし実施いたしました。

※令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により開催見送り



最優秀作品模型



最優秀作品パース



審査会の様子

令和7年度7月5日（土）よりコンペ応募者を募り、作品を受け付けたところ、26作品（県内7作品、県外19作品）の提出があり、一次審査においてその中から最終審査に進む5作品を決定しました。その後、11月15日（土）に開催した最終審査会では提案者5者によるプレゼンテーション、審査委員による質疑応答・選考を経て、最優秀作品等を決定しました。

最優秀作品賞に選ばれたのは京都工芸繊維大学大学院の作品で、外観のプロポーシヨンの美しさや内部空間のシンプルかつ均整のとれた見え方に加え、必要な設計条件を守りつつ機能的で効率的な作業が行えるよう工夫されている点が評価されました。



安部審査委員長（左）と最優秀作品賞を受賞した京都工芸繊維大学大学院の学生（右5名）

最優秀作品の提案者には、魅力ある建築物の創造に向けて設計事務所による実施設計に関わっていただくこととなっております。

優秀賞には岡山県立大学大学院と東京理科大学大学院の作品が選定されました。

審査会では、学生の熱のこもったハイレベルなプレゼンに、大型車両の出入りや天井クレーンの設置を想定した機能面・構造面など多方面からの高度な質疑応答が繰り広げられました。また、学生が持参した模型はどれも、来場者を唸らせるほど、細部まで自分たちのこだわりを込めて作り上げられていました。

審査会の様子は一般の方に向けてYouTubeでWEB配信を行いました。学生と審査委員のやりとりは、WEB上でも臨場感を味わうことができます。審査会の詳細及びアーカイブ配信は広島県HPよりご確認いただけますのでぜひご覧ください。



広島県HP

**(株)アマノ広島支店**

取締役支店長 天野 健司

〒731-4311 広島県安芸郡坂町北新地4-2-30  
☎082-885-3411  
https://amano-web.co.jp

**(株)ウッドワン**

代表取締役社長 中本 祐昌

〒738-8502 廿日市市木材港南1-1  
☎0829-32-3333  
https://www.woodone.co.jp/

**岸工業(株)**

代表取締役会長 岸 昭文  
代表取締役社長 岸 哲太郎

〒734-0023 広島市南区東雲本町2-15-7  
☎082-282-1461  
https://www.kishikogyo.co.jp

**(株)共立**

代表取締役 沖元 周二

〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16  
☎082-246-4151  
https://www.kyoriz.co.jp

**グラフィソフトジャパン(株)**

代表取締役社長 トロム ペーテル

〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8アクア博多5F  
☎080-2078-1707(担当:伊佐野)  
https://graphisoft.com/jp

**光和物産(株)**

広島支店

執行役員支店長 垣原 義尚

〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-10-23  
☎082-230-1855  
https://www.kowabussan.co.jp/

**(株)ジェイ・イー・サポート**

代表取締役 佐東 政明

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F  
☎082-836-3300  
https://www.jesupport.jp

**(株)住研社**

代表取締役 三浦 誠

〒731-5136 広島市佐伯区案々園2-1-30  
☎082-943-4550  
www.hiroshimahatsukaichi.com/

**イーイング・コーポレーション(株)**

代表取締役 平岡 栄作

〒733-0037 広島市西区西観音町4-1  
☎082-297-2022  
https://eing.co.jp

**江田島市都市整備課**

市長 土手 三生

〒737-2297 江田島市大柿町大原505  
☎0823-43-1647  
http://www.city.etajima.hiroshima.jp

**(株)ぎょうせい**

中国支社

支社長 藤原 和秀

〒730-8687 広島市中区三川町2-10  
愛媛ビル広島5階  
☎082-545-7121  
https://gyosei.jp/

**旭建産業(株)**

代表取締役社長 森重 慎太郎

〒733-0812 広島県広島市西区己斐本町3-4-15  
☎082-273-5966  
http://kyokuken.com/

**(株)KI works**

代表取締役 井手口 耕三

〒733-0815 広島市西区己斐上2-69-16  
☎082-881-1321  
http://www.kiworks.info

**坂町役場**

建設部建設課

町長 吉田 隆行

〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜1-1-1  
☎082-820-1512  
http://www.town.saka.lg.jp

**(株)シーピーユー**

小川 吉勇

〒720-0067 広島県福山市西町2-10-1  
福山商工会議所ビル6F  
☎084-928-6791  
https://www.cpu-net.co.jp/

**(株)総合資格学院**

広島支店

代表取締役 佐藤 拓也

〒730-0037 広島市中区中町7-35  
和光中町ビル4F  
☎082-542-3811  
http://www.shikaku.co.jp

**井本建設(株)**

代表取締役 井本 成一

〒737-0814 呉市山手1-1-33  
☎0823-23-2506  
https://imoto-build.jp/

**大之木建設(株)**

代表取締役社長 大之木 洋之介

〒737-8502 呉市中央3-12-4  
☎0823-26-1523  
http://www.onoki.co.jp

**(有)キョウヤマ**

代表取締役 三田 敏則

〒733-0012 広島市西区中広町2-14-21  
☎082-532-3067  
http://kiyouyama.jp

**クマリフト(株)**

代表取締役 熊谷 知哉

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-12-20  
☎06-6445-6700  
https://www.kumalift.co.jp

**ケイミュー(株)**

広島営業所

所長 片桐 公司

〒730-0037 広島市中区中町7-1  
☎082-245-0354  
http://www.kmew.co.jp/

**三和シャッター工業(株)**

中四国事業部長 谷 康二

〒733-0035 広島県広島市西区南観音6-3-13  
☎082-297-3014  
https://www.sanwa-ss.co.jp

**(株)杉田三郎建築設計事務所**

代表取締役 杉田 輝征

〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5  
☎082-228-2345  
http://www.saburosgita.com/

**(株)ダイキアクシス**

広島支店

住宅機器事業統括本部広島支店支店長 藤原 潤

〒731-0102 広島県広島市安佐南区川内5-1-22  
☎082-870-0888  
https://www.daiki-axis.com/

**大成建設(株)**

中国支店

常務執行役員支店長 中屋 亮

〒730-0041 広島市中区小町2-37  
☎082-242-5335  
http://www.taisei.co.jp

**中国電力(株)**

管財部門(建築)

部長・執行役員 阿比留 哲生

〒730-8701 広島市中区小町4-33  
☎082-544-2519  
http://www.energia.co.jp

**ナイス(株)**

中国ブロック 広島営業所 所長 大竹 泰弘

〒738-0034 廿日市市宮内六本松917-13-2F  
☎0829-39-3333  
https://www.nice.co.jp/

**中本造林(株)**

代表取締役 中本 雅生

〒738-0224 広島県廿日市市栗橋508  
☎0829-72-0222  
https://www.nakamotozourin.co.jp/

**日本 ERI (株)**

広島支店

支店長 金山 信広

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4-3F  
☎082-211-5500  
http://www.j-eri.co.jp

**パナソニックハウジングソリューションズ(株)**

営業本部中国支社 中国営業部 部長 長谷川 勇一

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町3-10-8-2F  
☎090-4699-4283  
https://recruit.jp.panasonic.com/organization/housing\_solutions/

**報国エンジニアリング(株)**

所長代理 立花 俊輔

〒731-0154 広島市安佐南区上安2-30-25-201  
☎082-961-6000  
https://www.hokoku-eng.jp/

**(有)元廣建築設計事務所**

代表取締役 元廣 匡伸

〒722-0037 尾道市西御所町6-15  
☎0848-23-5300  
http://motohiro-arc.com

**大和ハウス工業(株)**

中国支社

支社長 支配人 岩淵 義徳

〒733-0834 広島県広島市西区草津新町2-21-69-11  
☎082-501-3470  
https://www.daiwahouse.co.jp/

**(株)ティーエス・ハマモト**

代表取締役 濱本 利寿

〒731-0135 広島市安佐南区長束4-16-2  
☎082-238-1511  
http://www.ts-h.co.jp

**(株)ナガサキ**

代表取締役 長崎 邦彦

〒733-0036 広島市西区観音新町1-7-24  
☎082-233-5600  
http://www.nagasakitoso.co.jp

**日建学院広島校**

(株)セイブコーポレーション

代表取締役 仲西 毅

〒730-0016 広島市中区幟町14-11  
ウイング八丁堀ビル8F  
☎082-223-2751  
http://www.ksknet.co.jp/

**日本住宅パネル工業(協)**

西日本支所広島営業所

営業所長 木本 直樹

〒733-0834 広島市西区草津新町1-21-35  
広島ミクスビル5F  
☎082-270-3700  
http://www.panekyo.or.jp

**広島ガス(株)**

家庭用エネルギー営業部

家庭用エネルギー営業部長 田中 俊郎

〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1  
☎082-252-3020  
http://www.hiroshima-gas.co.jp

**(株)マリモハウス**

代表取締役社長 向井 芳典

〒733-0821 広島市西区庚午北2-16-4  
☎082-500-8391  
https://www.marimohouse.co.jp/

**中国木材(株)**

代表取締役社長 堀川 保彦

〒737-0134 広島県呉市広多賀谷3-1-1  
☎0823-71-7141  
https://www.chugokumokuzai.co.jp/

**TOTO (株)**

中国支社

支社長 木下 実

〒734-0014 広島市南区宇品西4-1-36  
☎0570-03-7771  
https://jp.toto.com/

**(株)長沼電業社**

代表取締役 長沼 毅

〒730-0036 広島市中区袋町6-14  
☎082-248-2501  
http://www.naganuma.co.jp

**日鉄物産システム建築(株)**

中国支店 支店長 三島 一秋

〒730-0017 広島県広島市中区鉄砲町10-12  
☎082-536-0600  
http://www.nst-sumisys.co.jp/

**ハウスプラス中国住宅保証(株)**

代表取締役社長 相本 栄治

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-3-32  
☎082-545-5607  
https://www.jutakuhojoshu.com

**(株)広島建築住宅センター**

代表取締役会長 宮地 正人  
代表取締役社長 的場 弘明

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10-3F  
☎082-228-2220  
https://www.hkjc.co.jp

**(株)ミヤジ**

代表取締役社長 宮地 宏治

〒722-0051 尾道市東尾道9-10  
☎0848-20-2111  
http://www.e-miyaji.com



# CPD 認定プログラム(1～2月の広島県内実施分)

2025年12月4日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
1/15	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
1/15	『電気設備工事監理指針 令和7年版』講習会	5	公共建築協会	03-3523-0382
1/16	『機械設備工事監理指針 令和7年版』講習会	5	公共建築協会	03-3523-0382
1/17	H1202 VRソリューションを活用した実践建築設計3次元CAD技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
1/17	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会(9)	6	広島県建築士会	082-244-6830
1/18	H1202 VRソリューションを活用した実践建築設計3次元CAD技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
1/22	大規模修繕「修繕の心得」講習会(DVD講習)	3	広島県建築士会	082-244-6830
1/24	H0602 建築施工図作成・管理支援技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
1/25	H0602 建築施工図作成・管理支援技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
1/28	改修工事ここが知りたい技術セミナー「荷物エレベーター、小荷物専用昇降機の改修工事の維持管理～無人搬送ロボットと荷物用昇降機との連携するための改修事例」	2	広島県建築士事務所協会	082-221-0600
1/31	H0302 実践建築設計2次元CAD技術(構造図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 1	H0302 実践建築設計2次元CAD技術(構造図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 3	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/ 5	令和7年度建築改修工事監理指針講習会	5	建築保全センター	03-3553-0070
2/ 5	設計図書整合性向上ガイドブック解説講習会(DVD講習)	1	広島県建築士会	082-244-6830
2/ 5	総合図作成ガイドライン解説講習会(DVD講習会)	2	広島県建築士会	082-244-6830
2/ 7	H1404 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/ 8	H1404 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/14	H0402 実践建築設計2次元CAD技術(詳細図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/14	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会(10)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/15	H0402 実践建築設計2次元CAD技術(詳細図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
2/26	第一種電気工事士定期講習(広島市)2/26	6	電気工事技術講習センター	03-3435-0897

## 【お知らせ】

本広報紙「建築士HIROSHIMA」は  
2026年度から隔月発行とします。

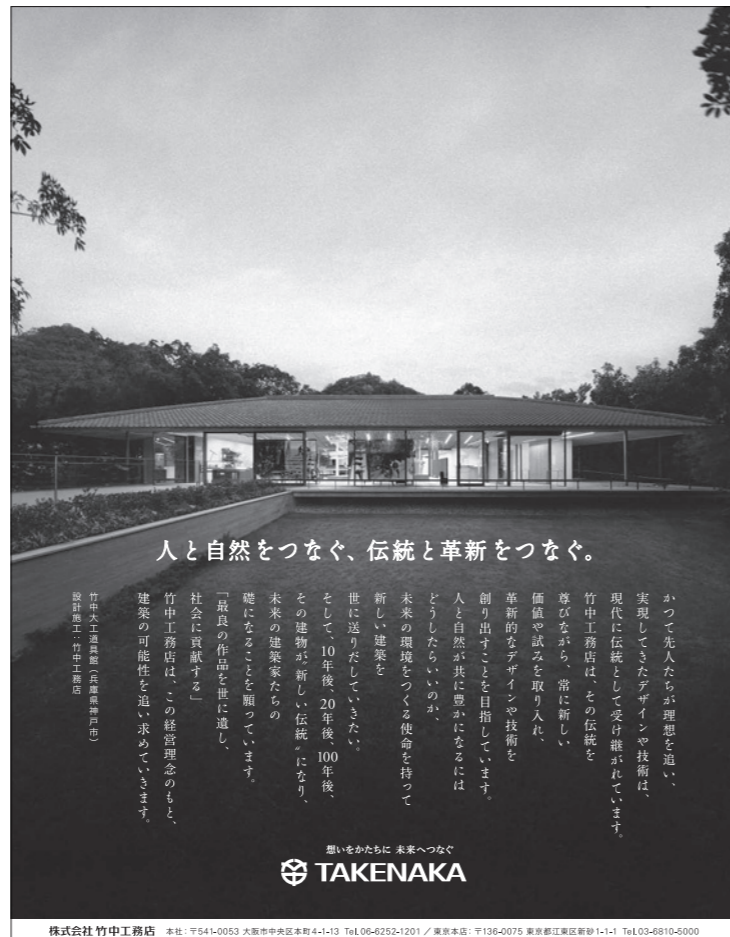
広島県建築士会広報紙「建築士HIROSHIMA」は2005年5月以降毎月発行(それ以前は年2～4回発行)してまいりました。

こうした中、近年の電子媒体の普及により紙媒体での掲載要望が減少していること、広報紙の予算が年々縮小される上に印刷費等の経費は値上がり傾向にあり、これまで同様のページ数確保が困難となるなど運営が厳しくなってきたことから、広島県建築士会本部理事会の承認を得て2026年度以降隔月(奇数月)発行とすることとさせていただきます。

今後も年間総ページ数は極力確保することとし、記事内容についてはイベント告知や報告だけでなく会員のためになる内容(法改正や特集記事など)を定期的に盛り込むよう工夫してまいります。

なお、建築士会連合会の機関誌「建築士」については、引き続き毎月発行されます。

会員の皆様には何とぞご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。



# 安心で安全な住まいづくりをサポートします



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

皆様の温かいご支援をお願い致します。

## 株式会社 広島建築住宅センター

### 業務内容

- 建築確認・検査
- 住宅性能評価
- フラット35
- 長期優良住宅
- 低炭素建築物
- 住宅かし担保責任保険
- 省エネ関連業務
- リフォーム評価ナビ
- ベターリビングリフォーム審査業務

(株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10  
TEL (082) 228-2220 FAX (082) 228-2231  
E-mail info@hkjc.co.jp  
ホームページ http://www.hkjc.co.jp

(株)広島建築住宅センター 福山営業所

〒720-0034 福山市若松町 8-22  
TEL (084) 928-3979 FAX (084) 928-3974  
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp